

コースコード：DO-DOL

税込価格：176,000円 (税抜価格：160,000円)

日数：2日間

ここに注目!!

DevOpsの手法を用いてバリューストリームを整理・管理するための新しく革新的な方法を紹介しています。DevOpsの進化に取り組んでいる方に向けた内容となっています。

テキストは英語ですが、講義は日本語で行います。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・ DevOpsの文化的変革プログラムを始めた人、またはリードしている人
- ・ 現代のITリーダーシップや組織変革のアプローチに興味のある方
- ・ ビジネスマネージャー
- ・ ビジネス・ステークホルダー
- ・ チェンジエージェント
- ・ コンサルタント
- ・ DevOpsコンサルタント
- ・ DevOpsエンジニア
- ・ ITディレクター
- ・ ITマネージャー
- ・ ITチームリーダー
- ・ リーン・コーチ
- ・ 実務担当者
- ・ プロダクトオーナー
- ・ スクラムマスター
- ・ システムインテグレーター
- ・ ツール提供者

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

どなたでもご受講いただけます。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

以下トピックへの実践的な理解が含まれています。

- ・ DevOpsとTime to Value
- ・ マインドセットとメンタルモデル
- ・ DevOps ITと従来のITの主な違い
- ・ 目標とするオペレーションモデルと組織設計
- ・ パフォーマンスマネジメント、リワード、モチベーション
- ・ 投資案件の準備



- ・価値ある成果にこだわる
- ・ワークフローを整理するアイデア
- ・エンパワーメントと参加
- ・意味のある指標の定義
- ・バリューストリームマッピング
- ・文化的、行動的变化の促進

アウトライン

コース紹介

コースゴール

コースアジェンダ

DevOpsとトランスフォーメーション・リーダーシップ

現在のDevOpsの定義

DevOpsのメリット

トランスフォーメーション・リーダーシップ

アンラーニング・ビヘイビア

心理的安全性と神経科学

マインドセット、メンタルモデル、コグニティブバイアス

ガバナンス・リスク・コンプライアンス(GRC)とDevOps

DevOps組織になるために

DevOpsとの違い

DevOps Kaizen

建物の安全性について

Measure to Learn



Measure to Targetを避けるために
現在のバリューストリームマップの作成

改善のための測定

改善のカタチと実験
未来のバリューストリームマップの作成

ターゲット・オペレーティング・モデルと組織設計

コンウェイの法則
DevOpsで得られる望ましい成果
DevOps TOM設計原則

ビジョンの明確化と社会化

大企業の組織改革
人を活かすために
組織外放送

エネルギーと運動量の維持

DevOpsのビジネスケース
文化と風土
信頼感のある文化

その他の情報源



試験の準備

試験条件、問題の重み付け、用語のリスト

サンプル試験レビュー